

## 【地域連携の実践事例】

中学校編

### 視点1：地域の教育資源（ヒト・モノ・コト）を学校に取り込む

- ・学校行事（強歩、長距離走、駅伝大会等）で地域の人の協力
- ・合唱コンクールの審査を地域の合唱団に依頼
- ・校内の環境整備（除草、花壇整備、図書室整備、廊下の壁面、カーテン、危険箇所の修繕など） ※学校支援ボランティアによる活動（内容によっては生徒も参加）
- ・地域の有志によるスケートリンク作製、スケート教室の実施
- ・読み聞かせ、ブックトーク ※地域の読書ボランティア団体と連携
- ・稲作体験 ※農家と連携し水田を借用・栽培指導
- ・ホテルの飼育、放虫 ※ホテル保存会との連携
- ・総合的な学習の時間
  - ① 1年：地域を知り、地域をPRする活動 2年：地域の中で職場体験  
3年：地域に貢献する活動（地域清掃、ベンチ製作と寄贈）
  - ② 1年：地域PR in 東京 2年：ジュニア観光マイスターとして養成  
3年：地域PR（英語版）を作成し、修学旅行の際に外国人にPR活動
  - ③外部講師の指導：ハンドベル、陶芸、和太鼓、和楽器、茶道、絵手紙など
  - ④キャリア教育（福祉体験、技能体験、社会人講話、市長の出前講座等）
  - ⑤福祉教育（講話・車椅子体験等） ※社会福祉協議会と連携
  - ⑥ふるさと学習 ※地域の施設や人材との連携
    - ・「渡良瀬遊水地に学ぶ」：共通講話 → 各生徒の講座選択 → 課題学習
    - ・「観光案内ボランティア」から地域の歴史や民話を学ぶ
- ・音楽科での外部講師（お囃子・琴） ※地域人材と連携
- ・技術家庭科での実習支援（調理実習・食育・ミシン実習・着付け・菊づくりなど）
- ・道徳（郷土愛）の授業の中で、地域のために尽力している人の話を聴く
- ・「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」 ※施設（博物館）と連携
- ・思春期教室 ※保健師と連携
- ・人権教室 ※人権擁護委員との連携
- ・特別養護老人ホームでの福祉体験活動・勤労体験（学級毎に訪問）
- ・補習授業のサポート（放課後、長期休業中） ※近隣の大学生と連携
- ・部活動指導支援（弓道・剣道・柔道・陸上・ソフトボール・吹奏楽など）

### 視点2：学校の教育力や資源を地域に還元・生徒の意識を地域に向ける

#### （教職員）

- ・地域行事に人的、施設的な協力（子ども育成会キャンプなど）
- ・生涯学習課事業への支援（キャンプファイア、クリスマス会でのボランティア）
- ・社会教育施設でのボランティア活動（天体観望会、事業支援など）

#### （生徒）

- ・地域行事（地区体育祭・地区まつり・地域文化祭・敬老会・防犯パレードなど）に生徒をボランティアとして派遣 ※地区の各種団体からの依頼による

- ・地域行事（資源や伝統）に関する啓発ポスターや標語募集への協力
- ・地域の高齢者に暑中見舞いや年賀状の送付
- ・中学生が小学生の学習支援を実施（夏休み）
- ・生徒による地区内の単身高齢者世帯や施設への訪問
- ・生徒会主催の資源物回収活動への協力を地域に呼びかけ
- ・薬物使用撲滅キャンペーンに生徒を派遣
- ・近隣小学校の「放課後子ども教室」でボランティア活動
- ・「オヤジの会」などとともに地域のクリーン活動

#### （その他）

- ・学校行事（体育祭、文化祭、合唱コンクール・音楽鑑賞教室など）を地域にも公開
- ・様々な講座（避難訓練・普通救命講習・性教育講座・情報モラル教室・薬物乱用防止教室など）を保護者にも案内し、学びの場を提供
- ・学校の文化祭に地域が参加（コーラス・絵画や写真、書道などのギャラリー設置）
- ・まちづくり協議会子ども会議への参加

#### 視点3：学校と地域の協働による活動

- ・コミュニティセンターの事業と学校行事を連動
- ・地域における生徒の活動の様子をHP等で発信
- ・教職員とPTAの合同研修会 ※地域の教育施設職員や地域のリーダーが講師
- ・「学校便り」を全戸回覧、地区掲示板に掲示
- ・合同リサイクル（資源回収）運動 ※保護者、生徒、教職員で実施
- ・地域の川の清掃活動を通じた環境教育、川遊びを通じた安全教育（学区内の幼保小と合同で実施）

#### 視点4：安全確保のための連携

- ・地区内の環境点検（交通安全、防犯の視点から通学路の点検を実施）  
※自治会・PTA・青少年指導員・民生委員・防犯協会等と合同で実施
- ・地区補導（毎月、長期休業中） ※PTAと合同で実施
- ・携帯電話トラブルに関する親学習（全学年の保護者会で実施） ※PTAと連携
- ・授業中の見まわり隊 ※PTA、地域住民
- ・防犯（避難）訓練 ※PTAの方が不審者役を務める。
- ・避難訓練（引き渡し訓練等） ※警察、消防、保護者、地域住民と連携
- ・避難所開設シミュレーション ※市町防災対策主管課、地域住民、保護者と連携
- ・「子ども110番の家」の協力依頼
- ・自転車の安全教室実施と、その時の様子を家庭地域に発信（指導への理解）
- ・全保護者の当番制による登校指導
- ・PTA懇談会の開催 ※自治会長、民生委員、保護者、教職員が一堂に会し、生徒

指導に関する課題をテーマにワークショップを開催

- ・ 適応指導（支援）教室との連携（早期対応）
- ・ 地区青少年健全育成連絡会議委員と児童生徒との意見交換の場を設定
- ・ 安全に関する標語を小中から募集 → 立て看板にして地区内に掲示
- ・ 登校指導（毎月） ※P T Aと合同で実施 ※生徒会の「あいさつ運動」と連動